

## 教育研究所の3学期の活動報告

### 「不登校に関する研修会」

1月26日(土)、リヴォルヴ学校教育研究所 元理事長 小野村 哲 先生を講師に招いて、不登校に関する研修会を実施しました。教職員・保護者等40名の方が参加しました。

「不登校の心に寄り添い、育ち・学びを支えるために～『みんなちがって みんないい』を考える～」というテーマで、不登校の何が問題なのか、何から始めるべきなのか、事例や疑似体験、グループワークなどを交えて講話をいただきました。

☆参加された方の感想(抜粋)☆

- ・目の前で起きている出来事は、全てそれでよいことと肯定することができました。勇気をいただきました。元気が一番です。
- ・もっともっと悩んでいる方が楽な気持ちになっていけたらよいと思います。学校がもっとゆるやかになって、子どもたちの選択肢が増えていけば、と思います。
- ・“不登校”“みんなと違う”という言葉で、その子の良い所や困っていることが隠れてしまう、見えないようにしてしまうことが本当の問題だと感じました。学校に行かないことを問題にするのではなく、その子のそばで、その子の好きなこと、長所、学習方法などをゆっくり考えていきたいです。



### 「発達障害の理解と支援のための研修会」

2月2日(土)、星槎大学大学院准教授 阿部 利彦先生を講師に招いて、発達障害の理解と支援のための研修会を開催しました。教職員・保護者等合わせて84名の方が参加しました。

阿部先生からは、「発達が気になる子の特別支援教育リフレーミング ～子どもたちへの見方を変えて味方になろう～」というテーマで、効果的な「ほめ」のポイント、叱るときに気を付けること、子どもたちへの見方を変えることなどを具体的な事例を交えて分かりやすく講話をいただきました。



#### ☆参加された方の感想(抜粋)☆

- ・内容が分かりやすく、頭にすっと入ってきました。これからは、「ふわっと言葉」を大事にしていきたいと思いました。
- ・見方を変える＝リフレーミング、言葉と見方をちょっと変えて、ひと呼吸することの大切さを教えていただきました。
- ・「心のストライクゾーンを広げる」という言葉がとても印象に残りました。子どもの心に寄り添っていききたいと思いました。



## 「子育て・教育講演会」

2月16日(土)、明蓬館高等学校 共有コーディネーターの南雲 明彦 先生を講師に招いて、子育て・教育講演会を開催しました。教職員・保護者等 88名の方が参加しました。

「ボク、学習障害と生きています～気づきから理解へ～」というテーマで、南雲先生の経験をもとに、支援の在り方や生きる力などについてありのままにお話しくださいました。

#### ☆参加された方の感想(抜粋)☆

- ・答えを与えることが支援ではないし、一緒に考えていくことが大切なんだという言葉が強く胸に残りました。自分も子どもたちと関わっていく中で心がけていきたいです。
- ・支援をしているつもりでも、本人がどう思っているか、考えていませんでした。こうだと決めつけずに、これからも見ていきたいです。
- ・支援が自然に生まれるクラスづくり、南雲先生の体験を通しての言葉だっただけにとっても心に響きました。障害云々ではなく、子どもたちが自然に育っていけるクラス運営ができれば…そのために教師自身も大きくならなければと反省です。



## 適応指導教室 ちゃれんじくらぶ 「第3回 調理活動」

多賀教室は2月19日(火)に、日立教室は2月22日(金)に、今年度3回目の調理活動を行いました。多賀教室ではチョコケーキ、パン、プリン、野菜スープを、日立教室では、ラーメンと餃子を作りました。どちらの教室もわきあいあいと、楽しくおいしい料理を作ることができました。

学校からは、校長先生はじめ担任の先生など、たくさんの先生方が御参加くださいました。先生方から話しかけられた時の、照れながらも嬉しそうな子どもたちの表情がとても印象的でした。



【多賀教室】



【日立教室】

# 平成 30 年度 教育研究所の事業紹介

今年度も「りさーち」で各種研修会やこども発達相談センター、適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」をはじめ、様々な事業をお伝えしてきました。更にいくつかをご紹介します。

## 教育課題調査研究

平成 30 年度は、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続実践事例集」を作成しました。

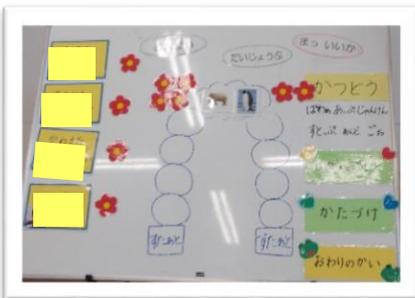
日立市内の幼児教育施設や小学校の実践事例を分かりやすく掲載しました。

4月に市内の各園・学校に配布予定です。

是非、御活用いただくことで、公立・私立、幼稚園・保育園・認定こども園などの枠を超え、保幼小連携の充実が図られることを願っています。



## こども発達相談センター 小集団活動「なかよし教室」



**「視覚支援」**  
活動の流れやルールを分かりやすく提示しました。活動後は、花丸シールで達成感を得ました。



**「重ねてみよう」**  
設計図の通りに紙コップを重ねる活動は、目と手の協応、力加減、友達との協力などをねらいとして行いました。



**「自由遊び」**  
自由遊びは、活動の般化の場として有効です。「入れて」「いいよ」「貸して」と友達とのやりとりもできるようになりました。

## 適応指導教室 「ちゃれんじくらぶ」



「ハイキング」  
多賀教室は諏訪梅林へ、  
日立教室は初崎海岸ま  
で歩きました。海風が気  
持ちよかったです。



「歴史・動物ふれあい体験」  
歴史館でアンギン編みや勾  
玉づくりなどを体験したり、  
かみね動物園で動物と触れ  
合ったりしました。



「卒級式・修了式」  
修了証を一人一人、しっか  
りと受け取る姿が印象的  
でした。卒級しても、力強  
く歩んでいくことを願っ  
ています。

これまでの多賀教室に加え、今年度から日立教室が開設しました。各学校の先生方の御理解と御協力のもと、1年間充実した活動ができました。児童・生徒たちは少しずつ人との関わりや活動に前向きに取り組むようになってきました。今後も様々な活動を通して、自信をつけていって欲しいと思います。

## 教育相談員 研修会

教育相談員としての基本的な知識・技術等を習得し、資質の向上を目指して3回の研修を行いました。

第1回 相談員としての活動の基礎基本を考える

カウンセリングの基礎知識と初歩的な技法

講師 ソースポート 代表カウンセラー 半田 一郎 先生

第2回 事例検討

講師 リソースポート 代表カウンセラー 半田 一郎 先生

第3回 相互事例検討



## 編集後記

桜のつぼみも膨らみ始めました。子どもたちにとっても、先生方にとってもたくさんの出会いや学びのある1年だったことでしょう。また、教育研究所の事業にも御理解と御協力をいただきまして本当にありがとうございました。新学期においても、新たな出会いの中で一人一人が自分らしく輝くことができますよう願っております。

(中村)